

開講年度	令和4年度	開講期間	後期
科目名	基礎コンピュータ		
担当教員	金本 直登		
学年	1年	学科	救急救命
単位数	2単位	時間数	30時間
学習目標	情報知識を習得し、パソコンの活用実践力を身につけることを目標とする。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. パソコンの概要</li> <li>2. WORD</li> <li>3. WORD</li> <li>4. WORD</li> <li>5. 課題作成</li> <li>6. EXCEL</li> <li>7. EXCEL</li> <li>8. EXCEL</li> <li>9. EXCEL</li> <li>10. 課題作成</li> <li>11. Power Point</li> <li>12. Power Point</li> <li>13. Power Point</li> <li>14. Power Point</li> <li>15. 課題作成</li> </ol>		
教科書	『30時間でマスター Office2016』（実教出版編集部:実教出版）		
参考書			
評価方法	WORD、EXCEL、PowerPointの課題結果を主体とし、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。		
備考	出席等は「学生便覧」を参照のこと。		

開講年度	令和4年度	開講期間	後期
科目名	人文・社会科学		
担当教員	金本 直登		
学年	1年	学科	救急救命
単位数	2単位	時間数	30時間
学習目標	公務員試験に向けて人文・社会科学分野の基礎力を習得する。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人文・社会科学①</li> <li>2. 人文・社会科学②</li> <li>3. 人文・社会科学③</li> <li>4. 人文・社会科学④</li> <li>5. 人文・社会科学⑤</li> <li>6. 人文・社会科学⑥</li> <li>7. 人文・社会科学⑦</li> <li>8. 人文・社会科学⑧</li> <li>9. 人文・社会科学⑨</li> <li>10. 人文・社会科学⑩</li> <li>11. 人文・社会科学⑪</li> <li>12. 人文・社会科学⑫</li> <li>13. 人文・社会科学⑬</li> <li>14. 人文・社会科学⑭</li> <li>15. 後期 まとめ 期末試験</li> </ol>		
教科書	よくわかる数的推理(田辺勉:実務教育出版) 速読英単語(早見寛:実務教育出版)		
参考書	配布資料		
評価方法	期末試験の得点結果を主体とし、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。		
備考	出席状況・授業態度(居眠り・私語・私服・服装の乱れ等)も評価の対象とする。 居眠り注意3回で欠席1とする。 詳細は「学生便覧」を参照のこと。		

開講年度	令和4年度	開講期間	通年(後期)																
科目名	保健体育 I																		
担当教員	山岸 英雄																		
学年	1年	学科	救急救命																
単位数	2単位	時間数	30(15)時間																
学習目標	<p>救急救命士及び消防職員採用試験に必要な基礎体力を養う手法を習得する。</p> <p>消防職員採用試験に向け体力づくりを習慣化する。</p>																		
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>9 基礎体力測定①</td> <td>自身の基礎体力を把握する</td> </tr> <tr> <td>10 基礎体力測定②</td> <td>自身の基礎体力を把握する</td> </tr> <tr> <td>11 基礎トレーニング</td> <td>自重や器具による体力向上を図るトレーニング</td> </tr> <tr> <td>12 基礎トレーニング</td> <td>自重や器具による体力向上を図るトレーニング</td> </tr> <tr> <td>13 基礎トレーニング</td> <td>自重や器具による体力向上を図るトレーニング</td> </tr> <tr> <td>14 基礎トレーニング</td> <td>自重や器具による体力向上を図るトレーニング</td> </tr> <tr> <td>15 基礎トレーニング</td> <td>自重や器具による体力向上を図るトレーニング</td> </tr> <tr> <td>16. まとめと効果測定</td> <td></td> </tr> </table>			9 基礎体力測定①	自身の基礎体力を把握する	10 基礎体力測定②	自身の基礎体力を把握する	11 基礎トレーニング	自重や器具による体力向上を図るトレーニング	12 基礎トレーニング	自重や器具による体力向上を図るトレーニング	13 基礎トレーニング	自重や器具による体力向上を図るトレーニング	14 基礎トレーニング	自重や器具による体力向上を図るトレーニング	15 基礎トレーニング	自重や器具による体力向上を図るトレーニング	16. まとめと効果測定	
9 基礎体力測定①	自身の基礎体力を把握する																		
10 基礎体力測定②	自身の基礎体力を把握する																		
11 基礎トレーニング	自重や器具による体力向上を図るトレーニング																		
12 基礎トレーニング	自重や器具による体力向上を図るトレーニング																		
13 基礎トレーニング	自重や器具による体力向上を図るトレーニング																		
14 基礎トレーニング	自重や器具による体力向上を図るトレーニング																		
15 基礎トレーニング	自重や器具による体力向上を図るトレーニング																		
16. まとめと効果測定																			
教科書																			
参考書																			
評価方法	<p>効果測定の得点結果を主体に、出席状況・受講態度等により総合的に評価する。</p> <p>効果測定は消防職員採用試験の内容に準じて行う。</p>																		
備考	<p>授業中の、居眠り・私語・頭髪・服装の乱れ等ある場合は評価の対象とする。</p> <p>体調不良等を理由とした頻回の見学・中断は欠席とする。(3見学で1欠席)</p> <p>詳細は「学生便覧」を参照のこと。</p>																		

開講年度	令和4年度	開講期間	後期
科目名	解剖生理学Ⅱ		
担当教員	内藤 一郎		
学年	1年	学科	救急救命
単位数	3単位	時間数	45時間
学習目標	解剖生理学は、人体の構造と機能を理解する科目です。 この科目を学ぶことで、救急救命士に必要な医学の基礎知識を習得することが目標です。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生殖器系(①男性生殖器、②女性生殖器)</li> <li>2. 内分泌系(①内分泌の役割、②内分泌器官の種類割)</li> <li>3. 内分泌系(③各内分泌器官の位置と役割)</li> <li>4. 血液・免疫系(①血液の構成と役割、②血球)</li> <li>5. 血液・免疫系(③血漿、④骨髄と脾臓)</li> <li>6. 学外講義①(中止の場合は「血液、型、凝固」)</li> <li>7. 学外講義②(中止の場合は「免疫」)</li> <li>8. 血液・免疫系(⑤止血と凝固、⑥免疫の仕組み)</li> <li>9. 血液・免疫系(⑦アレルギー、⑧自己免疫疾患)</li> <li>10. 筋・骨格系(①筋の構造、②筋の種類)</li> <li>11. 筋・骨格系(③全身の主な骨格、④骨の構造と役割)</li> <li>12. 筋・骨格系(⑤関節の構造と種類、⑥靭帯と腱)</li> <li>13. 筋・骨格系(⑦脊柱、⑧全身の骨格と関節)</li> <li>14. まとめと中間試験</li> <li>15. 神経系(①神経系の構成と役割、②脳)</li> <li>16. 神経系(③脊髄、④脳室と髄液)</li> <li>17. 神経系(⑤末梢神経系)</li> <li>18. 神経系(⑥伝導路、⑦自律神経、⑧脳循環)</li> <li>19. 神経系(⑨意識、⑩反射)</li> <li>20. 感覚器(①感覚の種類、②視覚)</li> <li>21. 感覚器(③平衡感覚・聴覚、④嗅覚・味覚、⑤皮膚感覚)</li> <li>22. 皮膚系(③皮膚の付属器、④皮膚の役割、⑤乳房)</li> <li>23. まとめと期末試験</li> </ol>		
教科書	改訂第10版救急救命士標準テキスト(へるす出版) ○×問題でマスター 解剖生理(医歯薬出版)		
参考書	改訂第9版救急救命士標準テキスト上巻(へるす出版)		
評価方法	学科試験のみで評価します。		
備考	難しい内容ですが、予習・復習をしっかりすれば十分理解できる内容です。 他の学生のことを考えて、私語をする方には退出をお願いします。 その他「学生便覧」を参照のこと。 学外講義は災害等により学内講義に変更する場合があります。		

開講年度	令和4年度	開講期間	通年(後期)																																											
科目名	救急医学概論Ⅱ(救急救命士の行う処置他)																																													
担当教員	曾田 修治																																													
学年	1年	学科	救急救命																																											
単位数	4単位	時間数	60(30)時間																																											
学習目標	病院前救護活動に必要な救急処置の基礎について理解する。																																													
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. 救急救命士が行う処置</td> <td>344-358</td> <td rowspan="2">※ 気管挿管・薬剤投与の実技は、2年次前期シミュレーション実習Ⅱで学ぶため、ここでは講義のみ行う。</td> </tr> <tr> <td>2. 救急救命士が行う処置</td> <td>358-368</td> </tr> <tr> <td>3. 救急救命士が行う処置</td> <td>368-375</td> <td rowspan="2">※ 415-418頁は婦人科疾患で学ぶため、ここでは対象外とする。</td> </tr> <tr> <td>4. 第1回-第3回まとめ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 救急救命士が行う処置</td> <td>376-383</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 救急救命士が行う処置</td> <td>383-395</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. 救急救命士が行う処置</td> <td>383-395</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 第5回-7回まとめ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 救急救命士が行う処置</td> <td>394-399</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10. 救急救命士が行う処置</td> <td>399-415</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11. 在宅療法継続中の傷病者の処置</td> <td>429-435</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12. 傷病者搬送</td> <td>436-441</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13. 傷病者搬送</td> <td>441-451</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14. 第9回-第13回 まとめ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>15. まとめ・期末試験</td> <td>344~451</td> <td></td> </tr> </table>			1. 救急救命士が行う処置	344-358	※ 気管挿管・薬剤投与の実技は、2年次前期シミュレーション実習Ⅱで学ぶため、ここでは講義のみ行う。	2. 救急救命士が行う処置	358-368	3. 救急救命士が行う処置	368-375	※ 415-418頁は婦人科疾患で学ぶため、ここでは対象外とする。	4. 第1回-第3回まとめ		5. 救急救命士が行う処置	376-383		6. 救急救命士が行う処置	383-395		7. 救急救命士が行う処置	383-395		8. 第5回-7回まとめ			9. 救急救命士が行う処置	394-399		10. 救急救命士が行う処置	399-415		11. 在宅療法継続中の傷病者の処置	429-435		12. 傷病者搬送	436-441		13. 傷病者搬送	441-451		14. 第9回-第13回 まとめ			15. まとめ・期末試験	344~451	
1. 救急救命士が行う処置	344-358	※ 気管挿管・薬剤投与の実技は、2年次前期シミュレーション実習Ⅱで学ぶため、ここでは講義のみ行う。																																												
2. 救急救命士が行う処置	358-368																																													
3. 救急救命士が行う処置	368-375	※ 415-418頁は婦人科疾患で学ぶため、ここでは対象外とする。																																												
4. 第1回-第3回まとめ																																														
5. 救急救命士が行う処置	376-383																																													
6. 救急救命士が行う処置	383-395																																													
7. 救急救命士が行う処置	383-395																																													
8. 第5回-7回まとめ																																														
9. 救急救命士が行う処置	394-399																																													
10. 救急救命士が行う処置	399-415																																													
11. 在宅療法継続中の傷病者の処置	429-435																																													
12. 傷病者搬送	436-441																																													
13. 傷病者搬送	441-451																																													
14. 第9回-第13回 まとめ																																														
15. まとめ・期末試験	344~451																																													
教科書	改訂第10版救急救命士標準テキスト(へるす出版) 344-418、429-451																																													
参考書																																														
評価方法	期末試験結果を主体とし、小テストの平均点及び出席状況・受講態度を総合的に評価する。																																													
備考	<p>補足授業の必要がある場合は、シミュレーション実習Ⅰで行う。</p> <p>授業中の、居眠り・私語・私服・服装の乱れ等も評価の対象とする。</p> <p>居眠り注意3回で欠席1とする。</p> <p>詳細は「学生便覧」を参照のこと。</p>																																													

開講年度	令和4年度	開講期間	後期
科目名	救急医学概論Ⅲ(災害・防災)		
担当教員	曾田 修治		
学年	1年	学科	救急救命
単位数	1単位	時間数	15時間
学習目標	<p>地域の公設機関等による災害・防災対応について理解する。</p> <p>広域災害・防災に対応する機関について理解する。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域防災①</li> <li>2. 地域防災②</li> <li>3. 広域防災①</li> <li>4. 広域防災②</li> <li>5. 広域防災③</li> <li>6. 広域防災④</li> <li>7. 広域防災⑤</li> <li>8. 広域防災⑥</li> </ol>		
教科書	改訂第10版救急救命士標準テキスト(へるす出版)232-244		
参考書			
評価方法	レポート提出及び+出席状況・受講態度を総合的に評価する。		
備考	<p>本講は学外授業を主体とするが諸事情により学内授業となる場合がある。</p> <p>出席状況・授業態度(居眠り・私語・私服・服装の乱れ等)も評価の対象とする。</p> <p>居眠り注意3回で欠席1とする。</p> <p>詳細は「学生便覧」を参照のこと。</p>		

開講年度	令和4年度	開講期間	後期
科目名	検査Ⅱ(放射線医学)		
担当教員	稲葉 敏宏		
学年	1年	学科	救急救命
単位数	1単位	時間数	15時間
学習目標	放射線の性質、現在の利用状況、危険性を理解して頂いて、救急救命士国家試験の合格を最終目標に全員そろって単位取得をしていく。		
授業計画	1. 放射線の種類と性質 2. 被曝の種類と障害 3. 被曝の種類と障害 4. 人体への影響 5. 放射線防御と汚染 6. 傷病者への対応 7. 傷病者への対応 8. まとめと期末試験	A. 放射能と放射線の違い B. 放射線の種類と性質 C. 放射線の単位 A. 外部被曝 B. 内部被曝 C. 体表面汚染 D. 創傷汚染 A. 障害臓器 A. 現場管理区分 B. 被曝の低減策 C. 個人線量計 D. 汚染傷病者の取り扱い E. 汚染傷病者の搬送法	
教科書	改訂第10版救急救命士標準テキスト(へるす出版)824~832頁		
参考書			
評価方法	小テスト+期末試験 及び 授業態度		
備考	出席等は「学生便覧」を参照のこと。		

開講年度	令和4年度	開講期間	後期																														
科目名	救急症候・病態生理学 I (心肺停止)																																
担当教員	曾田 修治																																
学年	1年	学科	救急救命																														
単位数	2単位	時間数	30時間																														
学習目標	心肺停止の概念について理解し、症候・病態ごとに観察、評価、処置及び搬送法に関する知識を系統的に習得する。																																
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. 救急蘇生法①</td> <td>419-422</td> </tr> <tr> <td>2. 救急蘇生法②</td> <td>422-425</td> </tr> <tr> <td>3. 救急蘇生法③</td> <td>425-428</td> </tr> <tr> <td>4. 救急蘇生法まとめ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 心肺停止(総論)</td> <td>477-480</td> </tr> <tr> <td>6. 心肺停止①</td> <td>480-481</td> </tr> <tr> <td>7. 心肺停止②</td> <td>481-482</td> </tr> <tr> <td>8. 心肺停止③</td> <td>482-484</td> </tr> <tr> <td>9. 心肺停止④</td> <td>484-485</td> </tr> <tr> <td>10. 心肺停止まとめ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11. 心不全①</td> <td>458-459</td> </tr> <tr> <td>12. 心不全②</td> <td>459-460</td> </tr> <tr> <td>13. 心不全③</td> <td>460-462</td> </tr> <tr> <td>14. 心不全まとめ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15 まとめ・期末試験</td> <td></td> </tr> </table>			1. 救急蘇生法①	419-422	2. 救急蘇生法②	422-425	3. 救急蘇生法③	425-428	4. 救急蘇生法まとめ		5. 心肺停止(総論)	477-480	6. 心肺停止①	480-481	7. 心肺停止②	481-482	8. 心肺停止③	482-484	9. 心肺停止④	484-485	10. 心肺停止まとめ		11. 心不全①	458-459	12. 心不全②	459-460	13. 心不全③	460-462	14. 心不全まとめ		15 まとめ・期末試験	
1. 救急蘇生法①	419-422																																
2. 救急蘇生法②	422-425																																
3. 救急蘇生法③	425-428																																
4. 救急蘇生法まとめ																																	
5. 心肺停止(総論)	477-480																																
6. 心肺停止①	480-481																																
7. 心肺停止②	481-482																																
8. 心肺停止③	482-484																																
9. 心肺停止④	484-485																																
10. 心肺停止まとめ																																	
11. 心不全①	458-459																																
12. 心不全②	459-460																																
13. 心不全③	460-462																																
14. 心不全まとめ																																	
15 まとめ・期末試験																																	
教科書	改訂第10版救急救命士標準テキスト(へるす出版)419-428、458-462、477-485																																
参考書																																	
評価方法	期末試験の得点結果を主体とし、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。																																
備考	出席状況・授業態度(居眠り・私語・私服・服装の乱れ等)も評価の対象とする。 居眠り注意3回で欠席1とする。 詳細は「学生便覧」を参照のこと。																																



開講年度	令和4年度	開講期間	後期																														
科目名	救急症候・病態生理学Ⅱ(ショック・重症脳障害)																																
担当教員	山岸 英雄																																
学年	1年	学科	救急救命																														
単位数	2単位	時間数	30時間																														
学習目標	病院前救護に必要な病態生理、症候、現場活動について理解する。																																
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. ショック総論</td> <td>463-464</td> </tr> <tr> <td>2 循環血液量減少性ショック①</td> <td>464-466</td> </tr> <tr> <td>3 循環血液量減少性ショック②</td> <td>466-467</td> </tr> <tr> <td>4 心原性ショック①</td> <td>467-468</td> </tr> <tr> <td>5 心原性ショック②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 心外閉塞・拘束性ショック①</td> <td>468-469</td> </tr> <tr> <td>7 心外閉塞・拘束性ショック②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 血液分布異常性ショック①</td> <td>469</td> </tr> <tr> <td>9 血液分布異常性ショック②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 ショックまとめ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 重症脳障害①</td> <td>470-471</td> </tr> <tr> <td>12 重症脳障害②</td> <td>471-473</td> </tr> <tr> <td>13 重症脳障害③</td> <td>473-476</td> </tr> <tr> <td>14 重症脳障害まとめ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15 まとめ・期末試験</td> <td></td> </tr> </table>			1. ショック総論	463-464	2 循環血液量減少性ショック①	464-466	3 循環血液量減少性ショック②	466-467	4 心原性ショック①	467-468	5 心原性ショック②		6 心外閉塞・拘束性ショック①	468-469	7 心外閉塞・拘束性ショック②		8 血液分布異常性ショック①	469	9 血液分布異常性ショック②		10 ショックまとめ		11 重症脳障害①	470-471	12 重症脳障害②	471-473	13 重症脳障害③	473-476	14 重症脳障害まとめ		15 まとめ・期末試験	
1. ショック総論	463-464																																
2 循環血液量減少性ショック①	464-466																																
3 循環血液量減少性ショック②	466-467																																
4 心原性ショック①	467-468																																
5 心原性ショック②																																	
6 心外閉塞・拘束性ショック①	468-469																																
7 心外閉塞・拘束性ショック②																																	
8 血液分布異常性ショック①	469																																
9 血液分布異常性ショック②																																	
10 ショックまとめ																																	
11 重症脳障害①	470-471																																
12 重症脳障害②	471-473																																
13 重症脳障害③	473-476																																
14 重症脳障害まとめ																																	
15 まとめ・期末試験																																	
教科書	改訂第10版救急救命士標準テキスト(へるす出版)463-469、470-476																																
参考書																																	
評価方法	期末試験の結果を主体とし、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。																																
備考	<p>補足授業の必要がある場合は、シミュレーション実習Ⅰで行う。</p> <p>授業中の、居眠り・私語・私服・服装の乱れ等も評価の対象とする。</p> <p>居眠り注意3回で欠席1とする。</p> <p>詳細は「学生便覧」を参照のこと。</p>																																

開講年度	令和4年度	開講期間	後期
科目名	救急症候・病態生理学Ⅲ(意識障害・一過性意識消失と失神・呼吸困難)		
担当教員	大治 広美		
学年	1年	学科	救急救命
単位数	2単位	時間数	30時間
学習目標	発生機序、症候、病態生理について理解し、現場活動に必要な知識を習得する。		
授業計画	1. 意識障害① 488-491 2. 意識障害② 3. 意識障害③ 4. 意識障害④ 5. 意識障害⑤ 6. 意識障害まとめ 7. 一過性意識消失と失神 519-521 8. 一過性意識消失と失神 9. 一過性意識消失と失神まとめ 10. 呼吸困難① 511-515 11. 呼吸困難② 12. 呼吸困難③ 13. 呼吸困難④ 14. 呼吸困難まとめ 15. まとめ・期末試験		
教科書	改訂第10版救急救命士標準テキスト(へるす出版)488-491、519-521、511-515		
参考書			
評価方法	期末試験の結果を主体とし、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。		
備考	補足授業の必要がある場合は、シミュレーション実習Ⅰで行う。 授業中の、居眠り・私語・私服・服装の乱れ等も評価の対象とする。 居眠り注意3回で欠席1とする。 詳細は「学生便覧」を参照のこと。		

開講年度	令和4年度	開講期間	後期
科目名	神経・感覚器疾患		
担当教員	竹本 浩久		
学年	1年	学科	救急救命
単位数	1単位	時間数	15時間
学習目標	救急救命士に必要な神経・感覚器疾患の症候・病態生理について理解する。 症候・病態ごとに観察, 評価, 処置及び搬送法に関する知識を系統的に習得する。		
授業計画	1. 神経系疾患 総論 546-557 2. 脳血管障害① 3. 脳血管障害② 4. 中枢神経・末梢神経① 5. 中枢神経・末梢神経② 6. 神経系疾患まとめ 7. 眼・耳・鼻の疾患 630-634 8. まとめと期末試験		
教科書	改訂第10版救急救命士標準テキスト(へるす出版)546-557、630-634		
参考書			
評価方法	期末試験の結果を主体とし、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。		
備考	出席状況・授業態度(居眠り・私語・私服・服装の乱れ等)も評価の対象とする。 居眠り注意3回で欠席1とする。 詳細は「学生便覧」を参照のこと。		

開講年度	令和4年度	開講期間	後期																
科目名	呼吸器疾患																		
担当教員	大治 広美																		
学年	1年	学科	救急救命																
単位数	1単位	時間数	15時間																
学習目標	救急救命士に必要な呼吸器系疾患の病態、症候、診断、治療法を修得する。																		
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. 呼吸不全①</td> <td>454-455</td> </tr> <tr> <td>2. 呼吸不全②</td> <td>455-457</td> </tr> <tr> <td>3. 呼吸系疾患 総論</td> <td>558-560</td> </tr> <tr> <td>4. 呼吸系疾患 上気道・下気道の疾患</td> <td>560-563</td> </tr> <tr> <td>5. 呼吸系疾患 感染症</td> <td>563-564</td> </tr> <tr> <td>6. 呼吸系疾患 胸膜疾患</td> <td>564-565</td> </tr> <tr> <td>7. 呼吸系疾患 その他の呼吸器疾患</td> <td>565-566</td> </tr> <tr> <td>8. まとめ・期末試験</td> <td></td> </tr> </table>			1. 呼吸不全①	454-455	2. 呼吸不全②	455-457	3. 呼吸系疾患 総論	558-560	4. 呼吸系疾患 上気道・下気道の疾患	560-563	5. 呼吸系疾患 感染症	563-564	6. 呼吸系疾患 胸膜疾患	564-565	7. 呼吸系疾患 その他の呼吸器疾患	565-566	8. まとめ・期末試験	
1. 呼吸不全①	454-455																		
2. 呼吸不全②	455-457																		
3. 呼吸系疾患 総論	558-560																		
4. 呼吸系疾患 上気道・下気道の疾患	560-563																		
5. 呼吸系疾患 感染症	563-564																		
6. 呼吸系疾患 胸膜疾患	564-565																		
7. 呼吸系疾患 その他の呼吸器疾患	565-566																		
8. まとめ・期末試験																			
教科書	改訂第10版救急救命士標準テキスト(へるす出版)454-457,558-566																		
参考書																			
評価方法	期末試験の結果を主体とし、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。																		
備考	出席状況・授業態度(居眠り・私語・私服・服装の乱れ等)も評価の対象とする。 居眠り注意3回で欠席1とする。 詳細は「学生便覧」を参照のこと。																		

開講年度	令和4年度	開講期間	後期																
科目名	循環器疾患																		
担当教員	曾田 修治																		
学年	1年	学科	救急救命																
単位数	1単位	時間数	15時間																
学習目標	救急救命士に必要な循環器系疾患の病態、症候、診断、治療法を、救急疾患をを修得する。																		
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. 循環器系疾患 総論</td> <td>567-568</td> </tr> <tr> <td>2. 虚血性心疾患</td> <td>569-572</td> </tr> <tr> <td>3. 心筋・心膜疾患・不整脈</td> <td>570-572</td> </tr> <tr> <td>4. 不整脈・心電図</td> <td>572-574</td> </tr> <tr> <td>5. 心電図</td> <td>575-581</td> </tr> <tr> <td>6. その他の心疾患・血管疾患</td> <td>581-583</td> </tr> <tr> <td>7. 血管疾患・高血圧</td> <td>584-586</td> </tr> <tr> <td>8. まとめ・期末試験</td> <td></td> </tr> </table>			1. 循環器系疾患 総論	567-568	2. 虚血性心疾患	569-572	3. 心筋・心膜疾患・不整脈	570-572	4. 不整脈・心電図	572-574	5. 心電図	575-581	6. その他の心疾患・血管疾患	581-583	7. 血管疾患・高血圧	584-586	8. まとめ・期末試験	
1. 循環器系疾患 総論	567-568																		
2. 虚血性心疾患	569-572																		
3. 心筋・心膜疾患・不整脈	570-572																		
4. 不整脈・心電図	572-574																		
5. 心電図	575-581																		
6. その他の心疾患・血管疾患	581-583																		
7. 血管疾患・高血圧	584-586																		
8. まとめ・期末試験																			
教科書	改訂第10版救急救命士標準テキスト(へるす出版)567-586																		
参考書																			
評価方法	期末試験の結果を主体とし、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。																		
備考	出席状況・授業態度(居眠り・私語・私服・服装の乱れ等)も評価の対象とする。 居眠り注意3回で欠席1とする。 詳細は「学生便覧」を参照のこと。																		

開講年度	令和4年度	開講期間	後期																
科目名	消化器疾患																		
担当教員	大治 広美																		
学年	1年	学科	救急救命																
単位数	1単位	時間数	15時間																
学習目標	救急救命士に必要な消化器系疾患の病態、症候、診断、治療法を修得する。																		
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. 消化系疾患 総論</td> <td>587-589</td> </tr> <tr> <td>2. 緊急度・重症度の判断</td> <td>589</td> </tr> <tr> <td>3. 歯・口腔疾患</td> <td>589-590</td> </tr> <tr> <td>4. 胃・十二指腸疾患</td> <td>590-592</td> </tr> <tr> <td>5. 腸疾患</td> <td>592-594</td> </tr> <tr> <td>6. 腹膜炎・肝疾患</td> <td>594-596</td> </tr> <tr> <td>7. 胆道疾患・急性膵炎</td> <td>596</td> </tr> <tr> <td>8. まとめ・期末試験</td> <td></td> </tr> </table>			1. 消化系疾患 総論	587-589	2. 緊急度・重症度の判断	589	3. 歯・口腔疾患	589-590	4. 胃・十二指腸疾患	590-592	5. 腸疾患	592-594	6. 腹膜炎・肝疾患	594-596	7. 胆道疾患・急性膵炎	596	8. まとめ・期末試験	
1. 消化系疾患 総論	587-589																		
2. 緊急度・重症度の判断	589																		
3. 歯・口腔疾患	589-590																		
4. 胃・十二指腸疾患	590-592																		
5. 腸疾患	592-594																		
6. 腹膜炎・肝疾患	594-596																		
7. 胆道疾患・急性膵炎	596																		
8. まとめ・期末試験																			
教科書	改訂第10版救急救命士標準テキスト(へるす出版)587-596																		
参考書																			
評価方法	期末試験の結果を主体とし、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。																		
備考	出席状況・授業態度(居眠り・私語・私服・服装の乱れ等)も評価の対象とする。 居眠り注意3回で欠席1とする。 詳細は「学生便覧」を参照のこと。																		

開講年度	令和4年度	開講期間	後期																
科目名	泌尿・生殖器疾患																		
担当教員	大治 広美																		
学年	1年	学科	救急救命																
単位数	1単位	時間数	15時間																
学習目標	救急救命士に必要な泌尿・生殖器系疾患の病態、症候、診断、治療法を修得する。																		
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. 泌尿・生殖系総論及び泌尿・生殖器の構造機能</td> <td>129-138</td> </tr> <tr> <td>2. 泌尿・生殖系疾患 総論</td> <td>597-598</td> </tr> <tr> <td>3. 緊急度・重症度の判断</td> <td>598</td> </tr> <tr> <td>4. 腎疾患①</td> <td>599-600</td> </tr> <tr> <td>5. 腎疾患②</td> <td>600-601</td> </tr> <tr> <td>6. 尿疾患②</td> <td>602-603</td> </tr> <tr> <td>7. 生殖疾患①</td> <td>603</td> </tr> <tr> <td>8. まとめ・期末試験</td> <td></td> </tr> </table>			1. 泌尿・生殖系総論及び泌尿・生殖器の構造機能	129-138	2. 泌尿・生殖系疾患 総論	597-598	3. 緊急度・重症度の判断	598	4. 腎疾患①	599-600	5. 腎疾患②	600-601	6. 尿疾患②	602-603	7. 生殖疾患①	603	8. まとめ・期末試験	
1. 泌尿・生殖系総論及び泌尿・生殖器の構造機能	129-138																		
2. 泌尿・生殖系疾患 総論	597-598																		
3. 緊急度・重症度の判断	598																		
4. 腎疾患①	599-600																		
5. 腎疾患②	600-601																		
6. 尿疾患②	602-603																		
7. 生殖疾患①	603																		
8. まとめ・期末試験																			
教科書	改訂第10版救急救命士標準テキスト(へるす出版)129-138,597-603																		
参考書																			
評価方法	期末試験の結果を主体とし、小テストの平均点及び出席状況、受講態度等で総合的に評価する。																		
備考	出席状況・授業態度(居眠り・私語・私服・服装の乱れ等)も評価の対象とする。 居眠り注意3回で欠席1とする。 詳細は「学生便覧」を参照のこと。																		

開講年度	令和4年度	開講期間	後期																
科目名	血液・代謝系疾患(免疫・内分泌疾患含む)																		
担当教員	竹本 浩久																		
学年	1年	学科	救急救命																
単位数	1単位	時間数	15時間																
学習目標	救急救命士に必要な内分泌・代謝系疾患及び血液・免疫系疾患の病態、症候、診断、治療法を修得する。																		
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. 内分泌・代謝系疾患 総論</td> <td>604-605</td> </tr> <tr> <td>2. 糖尿病の病態・分類・合併症</td> <td>605-612</td> </tr> <tr> <td>3. その他の代謝異常</td> <td>612-614</td> </tr> <tr> <td>4. 内分泌疾患・栄養疾患</td> <td>614-616</td> </tr> <tr> <td>5. 内分泌疾患まとめ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 血液・免疫疾患</td> <td>617-619</td> </tr> <tr> <td>7. 血液・免疫疾患まとめ</td> <td>619-621</td> </tr> <tr> <td>8. まとめ・期末試験</td> <td></td> </tr> </table>			1. 内分泌・代謝系疾患 総論	604-605	2. 糖尿病の病態・分類・合併症	605-612	3. その他の代謝異常	612-614	4. 内分泌疾患・栄養疾患	614-616	5. 内分泌疾患まとめ		6. 血液・免疫疾患	617-619	7. 血液・免疫疾患まとめ	619-621	8. まとめ・期末試験	
1. 内分泌・代謝系疾患 総論	604-605																		
2. 糖尿病の病態・分類・合併症	605-612																		
3. その他の代謝異常	612-614																		
4. 内分泌疾患・栄養疾患	614-616																		
5. 内分泌疾患まとめ																			
6. 血液・免疫疾患	617-619																		
7. 血液・免疫疾患まとめ	619-621																		
8. まとめ・期末試験																			
教科書	改訂第10版救急救命士標準テキスト(へるす出版)604-616, 617-621																		
参考書																			
評価方法	期末試験の結果を主体とし、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。																		
備考	出席状況・授業態度(居眠り・私語・私服・服装の乱れ等)も評価の対象とする。 居眠り注意3回で欠席1とする。 詳細は「学生便覧」を参照のこと。																		



開講年度	令和4年度	開講期間	通年(後期)																																														
科目名	シミュレーション実習 I																																																
担当教員	竹本 浩久・山岸 英雄																																																
学年	1年	学科	救急救命																																														
単位数	6単位	時間数	270(135)時間																																														
学習目標	<p>応急手当について指導することができる。  病院前救護で使用する資器材の基本操作を理解する。  病院前救護活動(CPA、急病、外傷)の基本行動を理解する。</p>																																																
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>69. 救急隊員基本スキル①</td> <td>92. 応急手当指導法</td> </tr> <tr> <td>70. 救急隊員基本スキル②</td> <td>93. 応急手当指導法</td> </tr> <tr> <td>71. 救急隊員基本スキル③</td> <td>94. 応急手当指導法</td> </tr> <tr> <td>72. 救急隊員基本スキル④</td> <td>95. 応急手当指導法</td> </tr> <tr> <td>73. 救急隊員基本スキル⑤</td> <td>96. 応急手当指導法</td> </tr> <tr> <td>74. 救急隊員基本スキル⑥</td> <td>97. 応急手当指導法</td> </tr> <tr> <td>75. 救急隊員基本スキル⑦</td> <td>98. 隊活動基本①</td> </tr> <tr> <td>76. 救急隊員基本スキル⑧</td> <td>99. 隊活動基本②</td> </tr> <tr> <td>77. 救急隊員基本スキル⑨</td> <td>100. 隊活動基本③</td> </tr> <tr> <td>78. 救急隊員基本スキル⑩</td> <td>101. 隊活動基本④</td> </tr> <tr> <td>79. 救急隊員基本スキル⑪</td> <td>102. 隊活動基本⑤</td> </tr> <tr> <td>80. 救急隊員基本スキル⑫</td> <td>103. 隊活動基本⑥</td> </tr> <tr> <td>81. 救急隊員基本スキル⑬</td> <td>104. 隊活動基本⑦</td> </tr> <tr> <td>82. 救急隊員基本スキル⑭</td> <td>105. 隊活動基本⑧</td> </tr> <tr> <td>83. 救急隊員基本スキル⑮</td> <td>106. 隊活動基本⑨</td> </tr> <tr> <td>84. 救急隊員基本スキル⑯</td> <td>107. 隊活動基本⑩</td> </tr> <tr> <td>85. 救急隊員基本スキル⑰</td> <td>108. 隊活動基本⑪</td> </tr> <tr> <td>86. 救急隊員基本スキル⑱</td> <td>109. 隊活動基本⑫</td> </tr> <tr> <td>87. 救急隊員基本スキル⑲</td> <td>110. 隊活動基本⑬</td> </tr> <tr> <td>88. 救急隊員基本スキル⑳</td> <td>111. 隊活動基本⑭</td> </tr> <tr> <td>89. 救急隊員基本スキル㉑</td> <td>112. 隊活動基本⑮</td> </tr> <tr> <td>90. 救急隊員基本スキル㉒</td> <td>113. 効果測定</td> </tr> <tr> <td>91. 救急隊員基本スキル まとめ</td> <td>114. 効果測定</td> </tr> </table>			69. 救急隊員基本スキル①	92. 応急手当指導法	70. 救急隊員基本スキル②	93. 応急手当指導法	71. 救急隊員基本スキル③	94. 応急手当指導法	72. 救急隊員基本スキル④	95. 応急手当指導法	73. 救急隊員基本スキル⑤	96. 応急手当指導法	74. 救急隊員基本スキル⑥	97. 応急手当指導法	75. 救急隊員基本スキル⑦	98. 隊活動基本①	76. 救急隊員基本スキル⑧	99. 隊活動基本②	77. 救急隊員基本スキル⑨	100. 隊活動基本③	78. 救急隊員基本スキル⑩	101. 隊活動基本④	79. 救急隊員基本スキル⑪	102. 隊活動基本⑤	80. 救急隊員基本スキル⑫	103. 隊活動基本⑥	81. 救急隊員基本スキル⑬	104. 隊活動基本⑦	82. 救急隊員基本スキル⑭	105. 隊活動基本⑧	83. 救急隊員基本スキル⑮	106. 隊活動基本⑨	84. 救急隊員基本スキル⑯	107. 隊活動基本⑩	85. 救急隊員基本スキル⑰	108. 隊活動基本⑪	86. 救急隊員基本スキル⑱	109. 隊活動基本⑫	87. 救急隊員基本スキル⑲	110. 隊活動基本⑬	88. 救急隊員基本スキル⑳	111. 隊活動基本⑭	89. 救急隊員基本スキル㉑	112. 隊活動基本⑮	90. 救急隊員基本スキル㉒	113. 効果測定	91. 救急隊員基本スキル まとめ	114. 効果測定
69. 救急隊員基本スキル①	92. 応急手当指導法																																																
70. 救急隊員基本スキル②	93. 応急手当指導法																																																
71. 救急隊員基本スキル③	94. 応急手当指導法																																																
72. 救急隊員基本スキル④	95. 応急手当指導法																																																
73. 救急隊員基本スキル⑤	96. 応急手当指導法																																																
74. 救急隊員基本スキル⑥	97. 応急手当指導法																																																
75. 救急隊員基本スキル⑦	98. 隊活動基本①																																																
76. 救急隊員基本スキル⑧	99. 隊活動基本②																																																
77. 救急隊員基本スキル⑨	100. 隊活動基本③																																																
78. 救急隊員基本スキル⑩	101. 隊活動基本④																																																
79. 救急隊員基本スキル⑪	102. 隊活動基本⑤																																																
80. 救急隊員基本スキル⑫	103. 隊活動基本⑥																																																
81. 救急隊員基本スキル⑬	104. 隊活動基本⑦																																																
82. 救急隊員基本スキル⑭	105. 隊活動基本⑧																																																
83. 救急隊員基本スキル⑮	106. 隊活動基本⑨																																																
84. 救急隊員基本スキル⑯	107. 隊活動基本⑩																																																
85. 救急隊員基本スキル⑰	108. 隊活動基本⑪																																																
86. 救急隊員基本スキル⑱	109. 隊活動基本⑫																																																
87. 救急隊員基本スキル⑲	110. 隊活動基本⑬																																																
88. 救急隊員基本スキル⑳	111. 隊活動基本⑭																																																
89. 救急隊員基本スキル㉑	112. 隊活動基本⑮																																																
90. 救急隊員基本スキル㉒	113. 効果測定																																																
91. 救急隊員基本スキル まとめ	114. 効果測定																																																
教科書	改訂第10版救急救命士標準テキスト(へるす出版) 245-252,332-351,368-383,394-415,436-451																																																
参考書																																																	
評価方法	効果測定の結果を主体とし、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。																																																
備考	授業中の、居眠り・私語・私服・服装の乱れ等も評価の対象とする。 不適切な髪型や毛染・ピアス・化粧がある場合、見学は不参加。原則、欠席とする。 居眠り注意3回で欠席1とし、校外見学中の居眠りは未履修とする。																																																

開講年度	令和4年度	開講期間	通年(後期)
科目名	シミュレーション実習 I		
担当教員	竹本 浩久・山岸 英雄		
学年	1年	学科	救急救命
単位数	6単位	時間数	270(135)時間
学習目標	<p>応急手当について指導することができる。          病院前救護で使用する資器材の基本操作を理解する。          病院前救護活動(CPA、急病、外傷)の基本行動を理解する。</p>		
授業計画	<p>115. 隊活動基本⑯          116. 隊活動基本⑰          117. 隊活動基本⑱          118. 隊活動基本⑲          119. 隊活動基本⑳          120. 隊活動基本㉑          121. 隊活動基本㉒          122. 隊活動基本㉓          123. 隊活動基本㉔          124. 隊活動基本㉕          125. 隊活動基本㉖          126. 隊活動基本㉗          127. 隊活動基本㉘          128. 隊活動基本㉙          129. 隊活動基本㉚          130. 隊活動基本㉛          131. 隊活動基本㉜          132. 隊活動基本㉝          133. 隊活動基本㉞          134. 隊活動基本㉟          135. 効果測定          136. 効果測定</p>		
教科書	<p>改訂第10版救急救命士標準テキスト(へるす出版)          245-252,332-351,368-383,394-415,436-451</p>		
参考書			
評価方法	効果測定の結果を主体とし、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。		
備考	<p>授業中の、居眠り・私語・私服・服装の乱れ等も評価の対象とする。          不適切な髪型や毛染・ピアス・化粧がある場合、見学は不参加。原則、欠席とする。          居眠り注意3回で欠席1とし、校外見学中の居眠りは未履修とする。</p>		